

平成20年度12年目研修に関するアンケート調査分析

—アンケート調査の結果とその分析—

教員研修計画委員長 松 永 洋 介

1. はじめに

昨年度に引き続き、岐阜大学教育学部で行われている現職教員対象の12年目研修について、研修教員と大学教員双方に対して無記名アンケート調査を行った。ここでは、その調査結果とその分析について述べる。質問項目は、複数年調査することによる経過分析をする目的をもっているため、研修教員、大学教員とも昨年度と同じとした。研修教員の回答者は114名、大学教員の回答者は72名であった。平成19年度は197名、平成18年度は224名であった。数字上は100名近く減少していることになる。これは今年度より教員免許更新講習の試行が始まり、減少分は講習に参加したためであると考えられる。

研修教員に対する質問項目は、(1)～(13)までの13項目である。(1)～(12)までの質問項目は、選択肢から当てはまる番号を選んで回答する選択式であり(複数回答項目を含む)、(13)は研修に関しての意見や感想を自由に書ける記述式とした。また、大学教員に対する質問項目は、(1)～(9)までの9項目である。質問項目(1)～(4)及び(6)～(8)は、選択肢から当てはまる番号を1つを選んで回答する選択式であり、質問項目(5)と(9)は自由記述式である。

以下、2節において研修教員に対する選択式の質問内容とその結果を述べる。また、3節では、大学教員に対する選択式の質問内容とその結果を述べ、研修教員の結果との比較を行う。なお、記述式の回答については、様々であり、今後の研修のあり方についての参考意見とするにとどめ、ここでは触れないこととする。

なお、今年度実施した12年目研修のコース一覧を58ページ～74ページに示す。

2. 研修教員に対する選択式の質問内容とその結果

以下に研修教員に対して行ったアンケートの結果を示す。

質問内容によって項目を分類した。項目は、【校種・研修コース】、【大学研修に対する期待・ニーズ】、【大学研修に対する成果・評価】、【大学教員に対するニーズ】、【大学について】の5つから成っている。

以下に各質問項目とともに回答結果を示す。

【校種・研修コース】

(1) 勤務先の校種をお答えください。

1 小学校 2 中学校 3 高等学校 4 特別支援教育学校

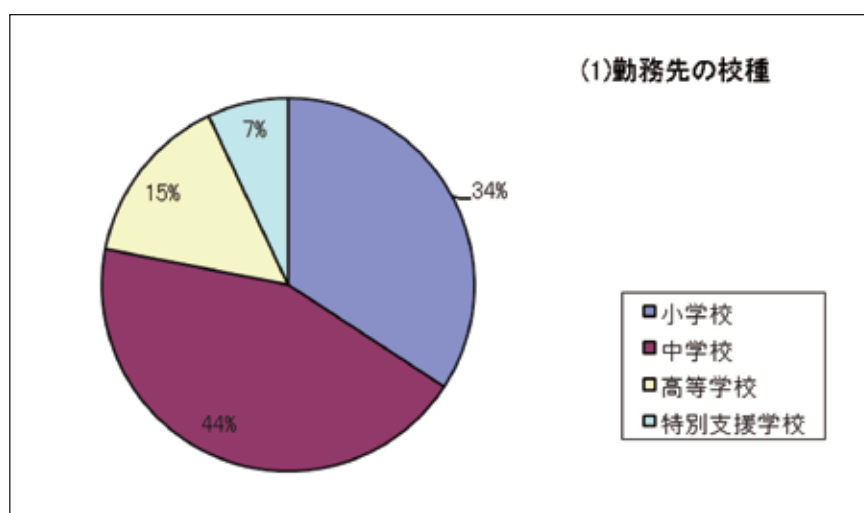


図1 勤務先の校種

最初の質問である。研修教員の勤務先の校種を問う設問である。中学校が最も多く44%であり、次いで小学校が34%であった。昨年度は小学校が最も多く、小学校49%、中学校39%であった。研修教員の人数は、採用された年度の採用事情と、校種別の学校数との双方が要因と関わってくるため、小学校教員が多くなるのは当然の結果といえる。また、今年度は免許更新講習の試行が行われ、そちらに参加した教員が小学校に多かったのではないかと推測される。

一方、高等学校と特別支援学校は、それぞれ15%（前年9%）、7%（前年3%）であった。

(2) 研修を受けたキャリアアップフィールドをお答えください。

- 1 教科教育 2 特殊教育 3 教育相談 4 総合的学習 5 児童生徒の発達理解
6 学校改善 7 学校経営・実践研究法

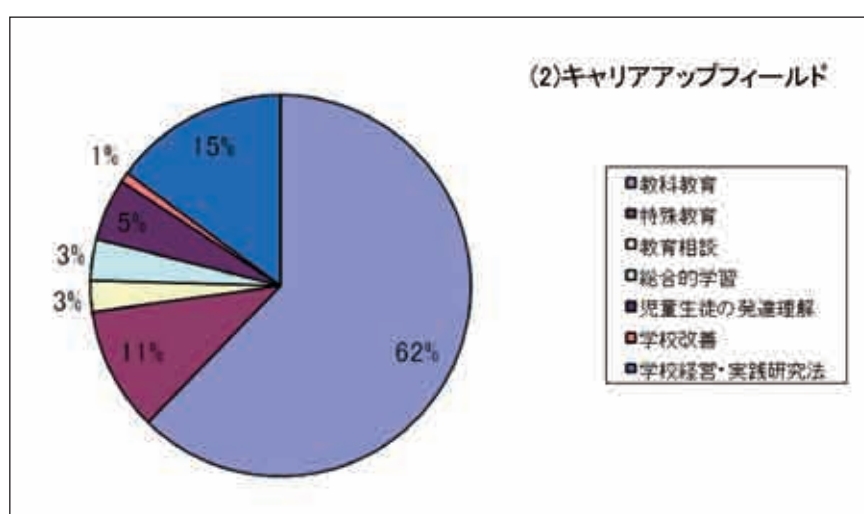


図2

この設問は、研修教員の問題意識を問うことを目的としている。

7つのキャリアアップフィールドすべてに選択者があった。

最も多かったのは教科教育で62％であった。教科教育を選択する教員は毎年最も多く、過去にさかのぼると72％（平成19年度）、67％（平成18年度）、57％（平成17年度）、62％（平成16年度）と毎年約6割以上を占めている。

二番目に多かったのは、今年度は学校経営・実践研究法であった。前年度8％に比べると今年度は15％であった。全体に占める比率では前年度比2倍増である。

教科教育を選択する教員が多いのは、自分の専門性を高めることを目的としていると考えられる。しかし、研修教員が実際に選択する基準になるのはキャリアアップフィールドではなく、大学教員がそれぞれ提示するテーマ名によって決定する場合が多い。したがって、テーマ名とそれがどのキャリアアップフィールドに属するかとの関係をも考慮する必要がある。

【大学研修に対する期待・ニーズ】

（3）そのキャリアアップフィールドを選んだ理由をお答えください。

- 1 普段の指導において問題意識を強く感じ、今後の改善に生かしたいと考えたから
- 2 これからの自分の勉強に生かせそうな分野だから
- 3 所属校との相談によって、今後の校務で必要とされると考えられた分野だから
- 4 どれでもよかったが面白そうだったから
- 5 その他

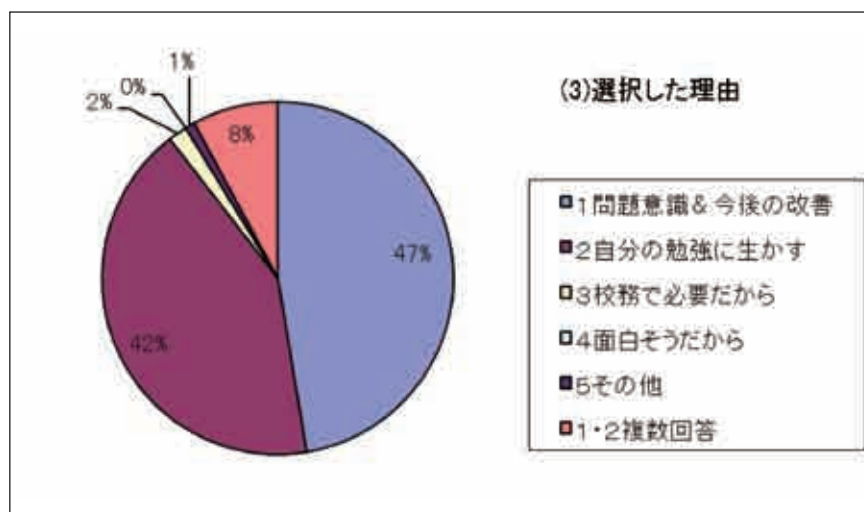


図 3

最も多かったのは「1」で47％であった。また、その次に多いのは「2」の42％で、両方合わせると89％である。昨年度はそれぞれ53％、44％で、両方合わせると97％であった。

12年目研修の趣旨から言えば、これらの項目は最も多いことが予想される項目であり、この研修の意義が裏付けられるものである。

「4」を選択した研修教員は昨年度も今年度もほとんどいなかった。また、「3」を選択した研修教員も少ない。このことは校務よりも自分の研修課題にもとづいてキャリアアップフィールド

ドを選択していることを示している。つまり、研修教員は事前に十分な目的意識を持って参加していると考えられる。

(4) この研修に対して、あなたが期待していたことはどんなことでしたか（複数回答可）。

- 1 授業の技術を身につけたい
- 2 学校づくり・学級経営を考えたい
- 3 学問的知識を高めたり・専門技能を身につけたい
- 4 学校の直面する問題に対応できる考え方を身につけたい
- 5 様々な児童・生徒に対する理解の方法を知りたい
- 6 学生時代に学んだことを学び直してリフレッシュしたい
- 7 特に何も期待はしていなかった

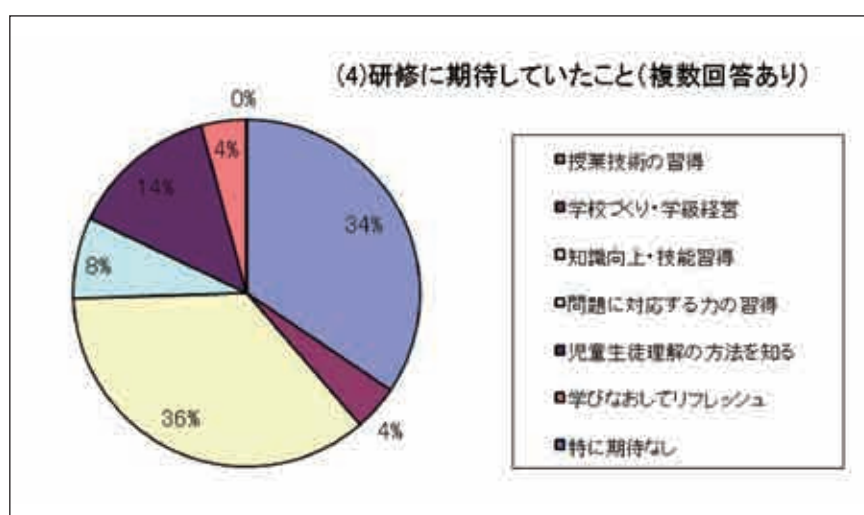


図 4

研修に対する期待度を問う設問である。複数回答を可としているが、その中で最も多かったのは「3」の38%、第2位が「1」の37%であった。「3」は研修教員自身の専門性に関わるものでありスキルアップ的な傾向をもつ。一方「1」は授業改善を目的としていると考えられる。また、「5」や「4」のように学級経営に関わる課題への解決を期待したと考えられる項目の選択者も多い。

これらの結果から、研修教員の意識には、自分の専門性を深めることと、当面する教育現場の課題への解決方法の模索の2つの方向性があると考えられる。

【大学研修に対する成果・評価】

(5) 今回の研修は、自分の課題解決や関心を満足させるものでしたか。

- 1 とても満足した
- 2 おおむね満足できた
- 3 あまり満足できなかった
- 4 全く満足できなかった

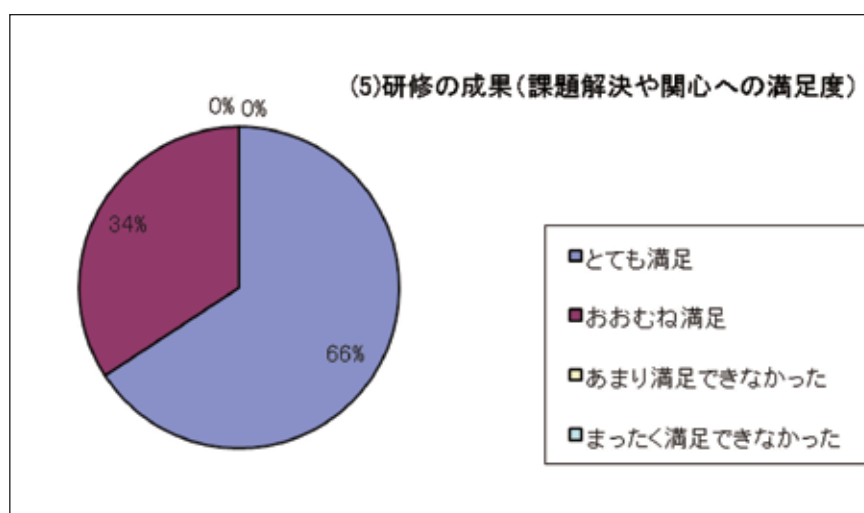


図 5

今回の大学研修に対する研修教員の満足度を問う質問項目である。

「1」と「2」を合わせて99%と満足度は高かった。昨年度も「1」と「2」を合わせて98%であったが、その内訳は「1」が52%,「2」が46%であった。したがって「1」の「とても満足」の選択率が高くなったことは、研修教員にとって当初の目的が十分達成できたことを示していると考えてよいであろう。一方、大学教員の指導も適切であったと考えられる。

なお、図5に現れた0%は未記入によるものである。

(6) 今回の研修は、2学期以降の実践に直接役立つものとなりましたか。

- 1 とても役立ちそうだ
- 2 役立つと思う
- 3 あまり役に立たない
- 4 全く役に立ちそうにない

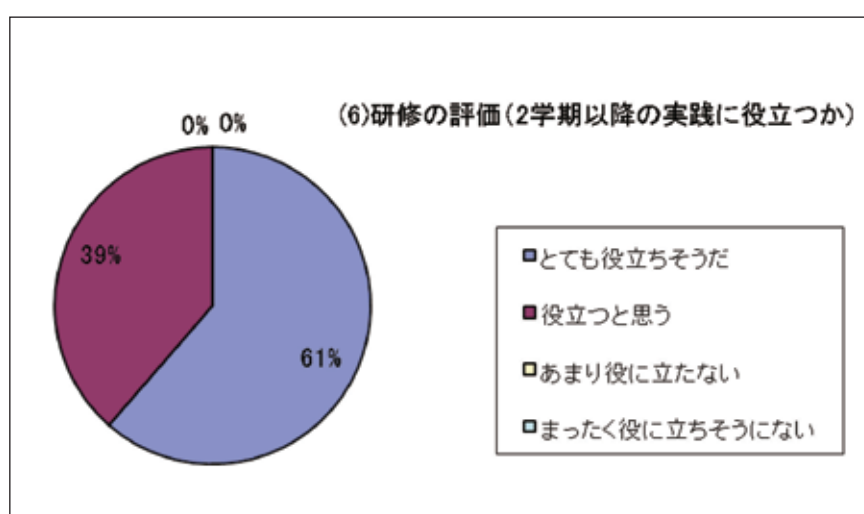


図 6

この設問は、研修終了後の夏休み明けに研修教員が自信を持って実践できるかどうかについての意識を問うものである。

「1」が61%、「2」が39%であり、両方合わせてほぼ100%とほとんどの研修教員が大学での研修が実践に生かせそうであると考えていることがわかった。また、昨年度は「1」が48%、「2」が50%であったことから、今年度はさらに満足度が上昇したと考えてよいと思われる。

【大学教員に対するニーズ】

(7) 日常の指導における疑問点について、相談したいと思うことはどんなことですか。

- 1 単元（題材）構成や教材分析
- 2 授業の指導技術
- 3 学校経営・学年経営・学級経営の方法
- 4 学級の児童・生徒の理解方法
- 5 特別支援教育の方法
- 6 その他
- 7 特に相談したいと思わない

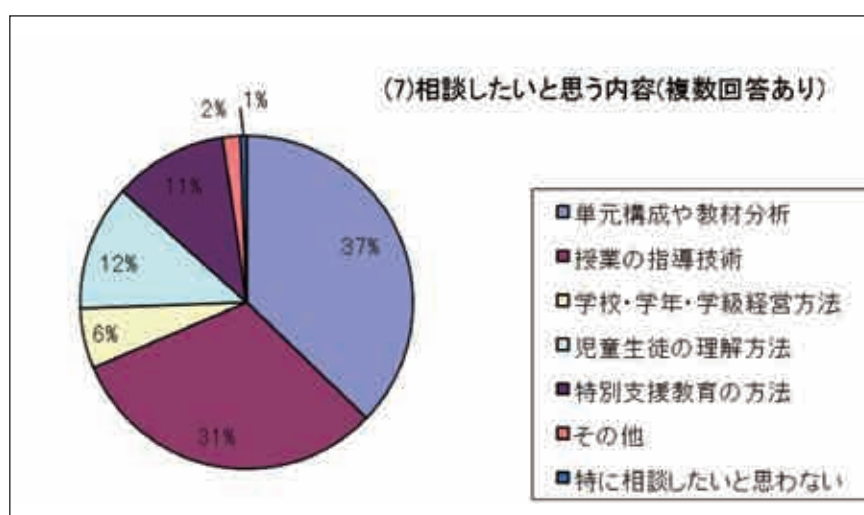


図 7

この設問は相談対象を大学教員とした場合、どのようなニーズがあるのかを掘り起こすための設問である。

図7は複数回答による総合計から算出したものであるが、ベストスリーは「1」の37%、「2」の31%、「4」の12%である。この3つの順位は昨年と変わっていない。

質問項目の「1」「2」は教科としての授業をどうするかという問題に関わるものであり、この点で日常の授業を何とかしたいという研修教員の願いが読み取れる。また、中でも「1」の「単元構成や教材分析」の比率が高いことは、教科指導に関わる専門的な知見を求めているものと考えられる。そして、大学教員が持つ専門性に対する期待が高いことがうかがえる。

(8) 現場で日常抱く指導上の問題点等について、主に相談するのは誰ですか（複数回答可）。

- 1 校長・教頭
- 2 学年主任
- 3 その教科・領域の主任
- 4 先輩
- 5 同僚
- 6 その他

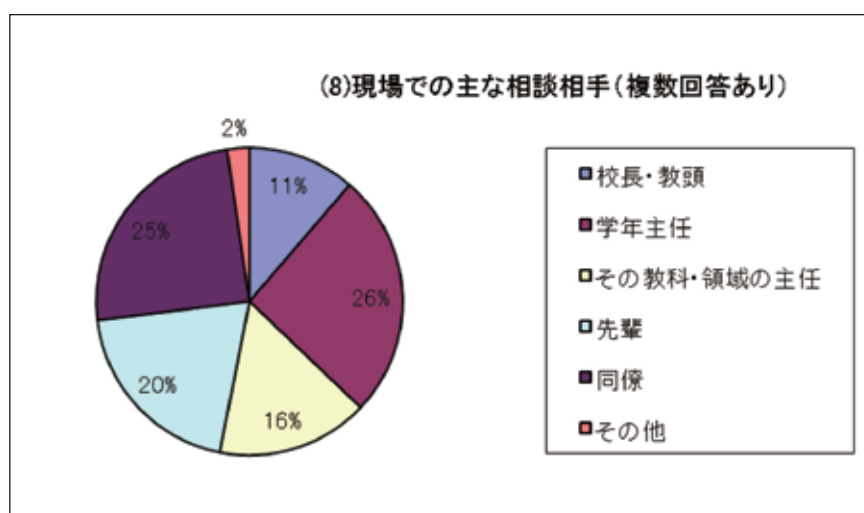


図 8

この設問は、前の項目（7）と関連して、日常的には大学との関わりがあまりない研修教員が、普段は日常の問題点を誰に相談しているかを問うものである。これは、大学がその役目を果たすることができるのかどうかについての基礎調査とするという目的で行った。

この設問は複数回答によるものであるが、「2 学年主任」、「3 その教科・領域の主任」、「1 校長・教頭」の順に多く、これは昨年度と同じであった。学年主任が最も多かったのは、まず自分の所属する学年で解決しようとし、次いで、専門性を求めて教科・領域の主任へと相談の対象を広げていることがわかる。このことは、設問7の大学教員に対するニーズの中で単元構成や教材分析が最も多かったことと対応している。

（9）（7）であげた日常の指導において感じた疑問点などを、大学教員に気軽に相談できるシステムがあれば利用したいと思いますか。

- 1 ぜひ利用したい
- 2 内容によっては利用したい
- 3 あまり利用したくない
- 4 全く期待しない

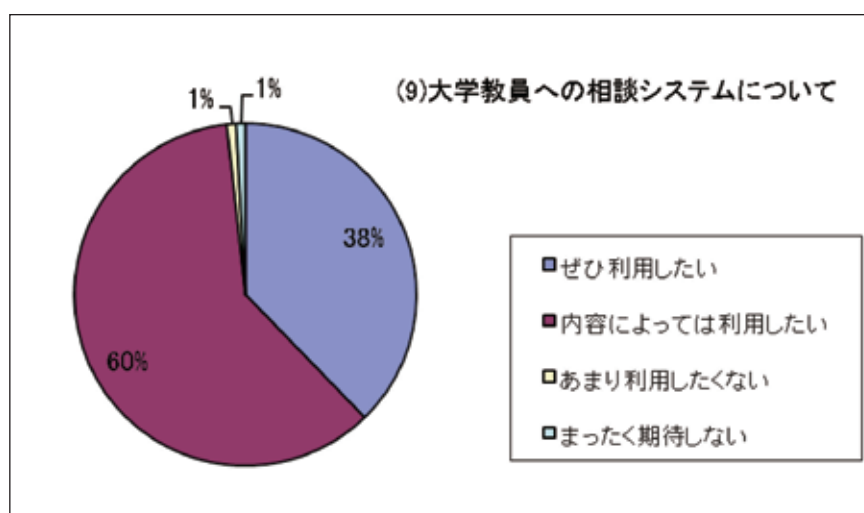


図 9

この設問は、前項目（8）に続くものである。研修教員が指導上の問題を持ったときに日常的には学年主任や教科・領域主任に相談することが多いことがわかったが、大学教員に相談することができるシステムがあった場合、研修教員はどの程度利用しようと考えているかを問うことを目的とした。

「1」が38%、「2」が60%であった。昨年度は「1」が36%、「2」が62%であった。

「1」と「2」を合わせ、ほぼ100%に近いのは、今回の研修によって大学に対する心理的な距離感が近くなったことを示していると考えられる。しかし、「2」の方が多いのは、相談内容が身近な教員で解決できるものなのか、より専門的な示唆を必要とするものなのかによって相談先を研修教員が選択しようと考えているからであると考えられる。また、大学までの地理的な距離感も影響していると思われる。いずれにせよ、現職教員の潜在的なニーズは十分にあると考えられる。

(10)「3 あまり利用したくない」「4 全く期待しない」と答えた方のみ、その理由をお答えください。

- 1 大学教員よりも現場教員の方が信頼できる
- 2 学校外に相談するのは面倒だ
- 3 距離的に遠い
- 4 時間的な余裕がない
- 5 電話ならよいが、メールを打つのが面倒だ
- 6 その他

この設問は（9）で「3」、「4」を選択した研修教員を対象としたものである。今回のアンケートでは「3」「4」を選択した研修教員はいなかった。

【大学について】

(11) 今回の研修を通して、大学教員はあなたに有益な示唆をもたらすことができましたか。

- 1 たいへんよかった
- 2 まあまあよかった
- 3 あまりよくなかった
- 4 まったくよくなかった

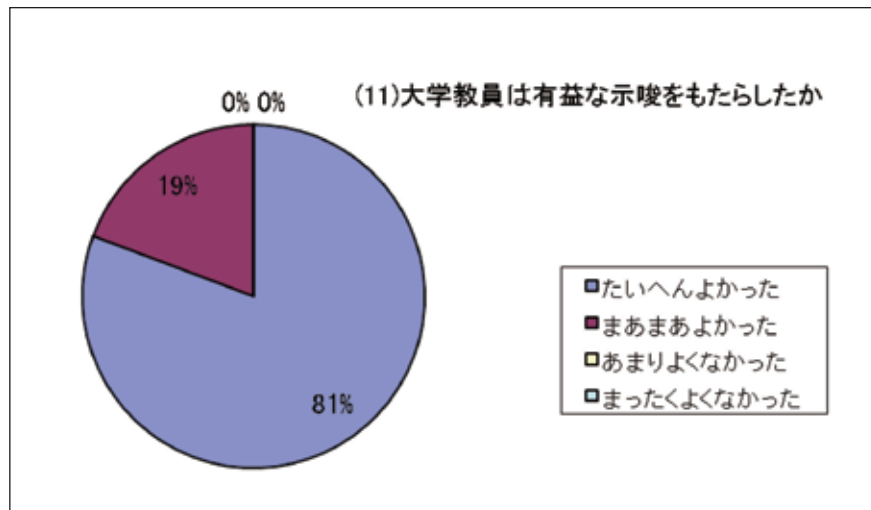


図 10

設問（５）「今回の研修は、自分の課題解決や関心を満足させるものでしたか」が、研修教員自身に対する満足度を問うものであるのに対して、この設問は大学教員への研修教員自身の評価を示すものである。

「１」が81%、「２」が19%であり、「３」と「４」を選択した研修教員はいなかった。このことから今回の大学研修について、大学教員は研修教員の期待に応える内容を提供できたと考えてよいと思われる。なお、過去４年間の「１」と「２」に対する回答率は、それぞれ77%（H19年度）、84%（H18年度）、78%（H17年度）、81%（H16年度）と、21%（H19年度）、16%（H18年度）、22%（H17年度）、19%（H16年度）であり、大きな変動はないとみてよい。

(12) 今回の研修を通して、岐阜大学に対する印象は変わりましたか。

1 よくになった 2 かわらない 3 わるくなった

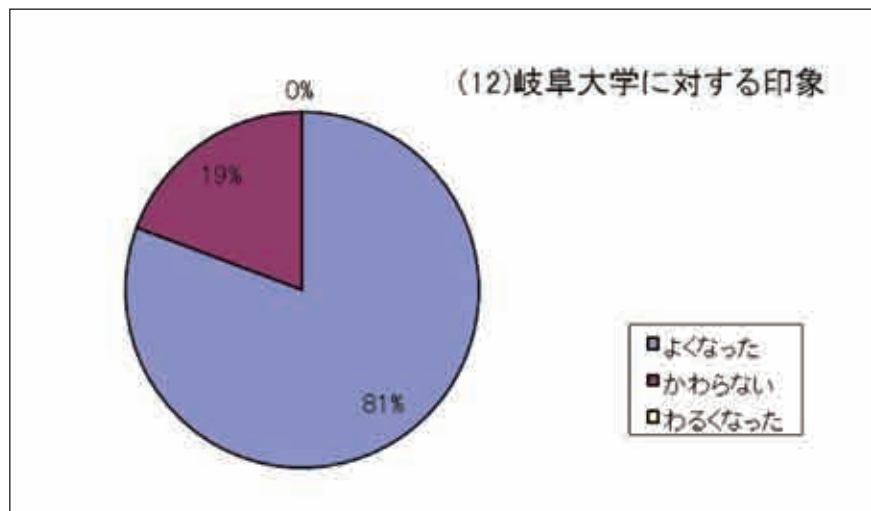


図 11

研修教員が12年目研修を通して岐阜大学に対するイメージをアップさせたかどうかを問う設問である。「1」が81%,「2」が19%であった。過去3年間に遡った結果は,「1」が48% (H19年度), 59% (H18年度), 38% (H17年度), 53% (H16年度),「2」が51% (H19年度), 40% (H18年度), 62% (H17年度), 47% (H16年度) であり, 今年度は特に「1」が多かった。このことは設問「5」「6」「11」とも関連して岐阜大学に対する好感度が上昇していると考えられる。

しかし, 前年度にも明らかになったことであるが,「2」を選択した研修教員の中には,「以前からよい印象を持っているので『変わらない』にした」という人もいることが考えられる。また, 岐阜大学出身者はもともとよい印象を持っていることも考えられるが, このアンケートでは回答者が岐阜大学出身者か他大学出身者かがわからないため, 詳細な分析は困難である。

3. 大学教員に対する選択式の質問内容とその結果, 及び研修教員の結果との比較

以下では, 選択式の質問項目(1)～(4)及び(6)～(8)の質問ごとに, 質問内容, 選択肢, 回答結果を示す円グラフを示してある。なお, 質問内容によって項目を分類し, 【研修コース】が(1), 【大学研修のねらい】が(2), 【大学研修の成果】が(3), (4)および(5), 【大学研修の方法】が(6)および(7), 【研修教員の印象】が(8), 【研修全体】が(9)となっている。

【研修コース】

(1) 担当したキャリアアップフィールドをお答え下さい。

1. 教科教育 2. 特殊教育 3. 教育相談 4. 総合的学習 5. 児童生徒の発達理解
6. 学校改善 7. 学級経営・実践研究法

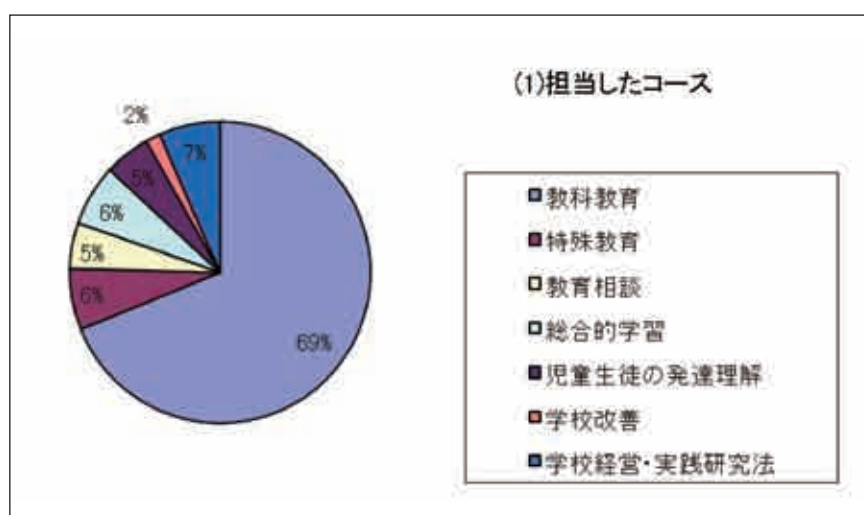


図12 担当した研修コース

質問(1)の「担当したキャリアアップフィールド」に対する回答結果を図12に示す。この結果より, 69%の大学教員が教科教育を担当したと回答している。次いで, 特殊教育と総合的学習が6%であった。昨年度は70%の大学教員が教科教育を担当しているので前年と同傾向で

あるといえる。また、総合的な学習の時間の割合が低くなったのは、研修教員の希望が集中するフィールドが求める講座が教科教育領域であることと関係していると思われる。

【大学研修のねらい】

(2) どのような期待やねらいを計画し、今回の大学研修のコース担当にのぞみましたか？

1. 専門的知識や情報を獲得させる
2. 子どもへの関わり合いを深める授業の力量形成
3. 教科の教材研究
4. 変わりつつある児童生徒に対応できる考え方の養成
5. 経験を積んだ教師のスタンスを問い直す契機
6. 教育現場の様々な課題を解決
7. 学校づくりや学校経営
8. 大学院志望の動機付け
9. その他

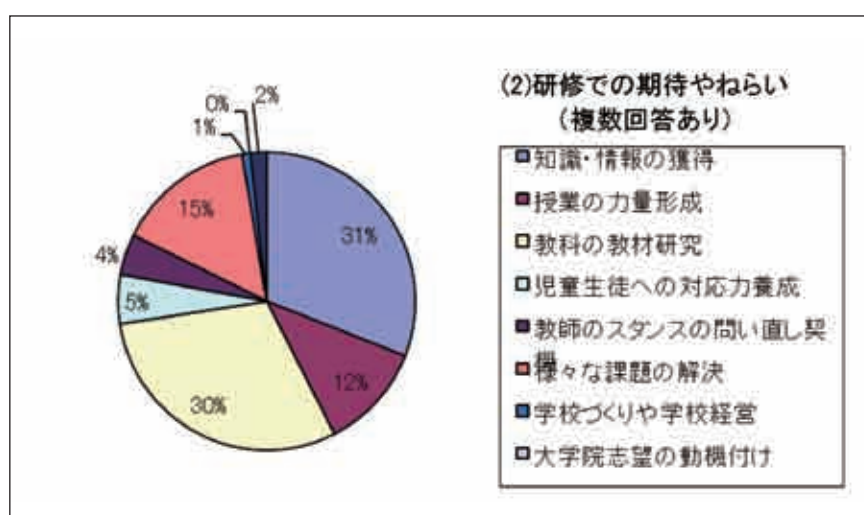


図13 大学教員の研修のねらい

質問(2)に関する、「大学教員の研修のねらい」に対する回答結果を図13に示す。

最も多かったのが「1」の31%、次いで多かったのが「3」の30%であった。この結果より、大学教員は研修のねらいを第一に「専門的知識を獲得させ、新しい情報を知らせること」に挙げ、次いで「教科の教材研究」を挙げていた。

この結果と現職教員のアンケート(設問「2」「7」)の結果より、大学教員と現職教員の期待やねらいはほぼ一致しているといえる。これは過去に遡って同様な結果を得ていることから、今回の研修が有効であったことを示しているといえよう。

【大学研修の成果】

(3) 研修教員とのかかわりのなかで、教育や研究のために意味がありましたか？

1. とてもそう思う 2. そう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない

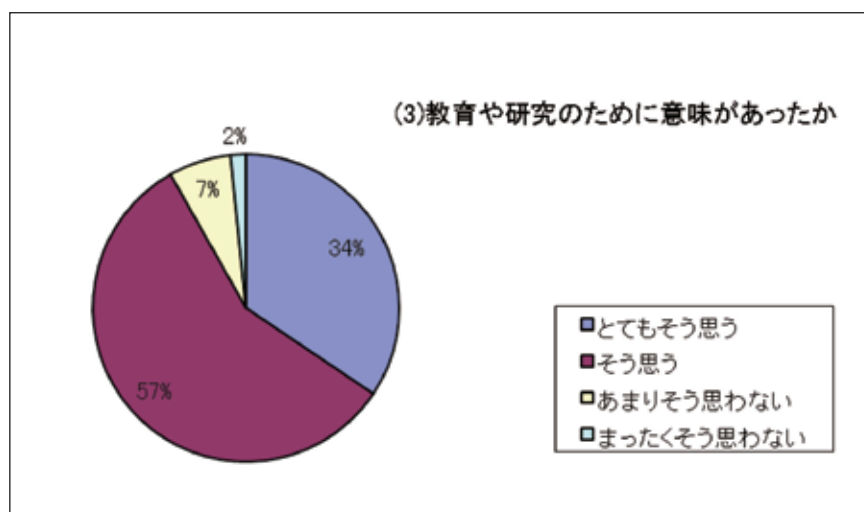


図14 大学研修の担当による意義

質問(3)の「大学研修の担当による教育や研究への意味」に対する回答結果を図14に示す。「1」「2」併せて91%の大学教員が、自分の研究や教育にとって意義があったと回答している。すなわち、この研修が研修教員への一方的なサービスにとどまらず、大学教員にとっても何らかの形でフィードバックを得るという、互恵的なものであったといえよう。しかしながら、大学側として着目したいのはマイナス面での評価である「3」「4」について約1割の大学教員が意義がなかったと回答していることであり、その理由についていっそう分析することが必要である。今回はその理由については問う設問がなかったこともあり、今後の課題としたい。

(4) 研修教員に対して、学校現場に直接つなげられる指導ができましたか？

1. とてもそう思う 2. そう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない

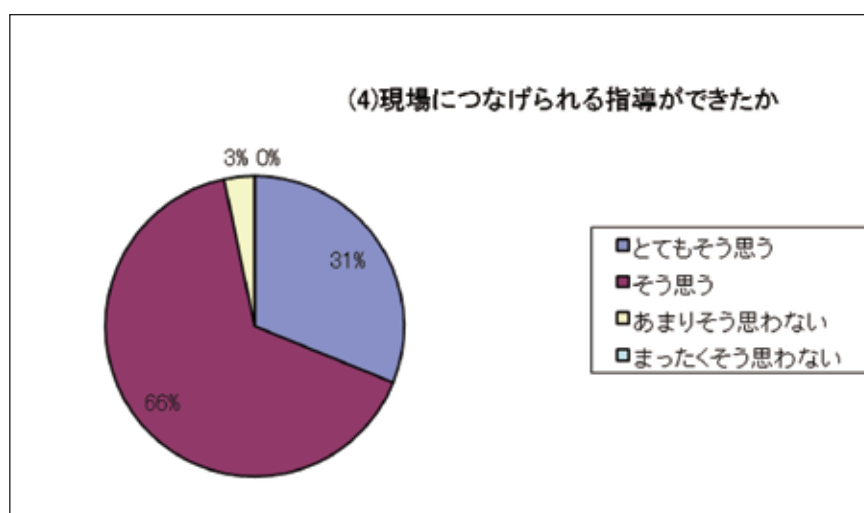


図15 学校現場につなげられる指導ができた

質問（４）に対する結果は「１」「２」合わせて97％が学校現場に役立つ指導であったと回答している。今年度はこれまでに中で最も評価が高く、研修６年目としてかなり現場のニーズに応じた内容を提供するように各大学教員が工夫していると考えられる。

研修教員に対するアンケート設問「６」の結果と比べてみても、両者の回答は一致していることから、かなり満足度の高い研修が提供できたものと考えられる。

【大学研修の方法】

（６）大学の設備・施設（附属図書館、ブラックボード、AIMS-GIFU など）を利用しましたか？

- １．良く利用した
- ２．時々利用した
- ３．あまり利用しなかった
- ４．全く利用しなかった

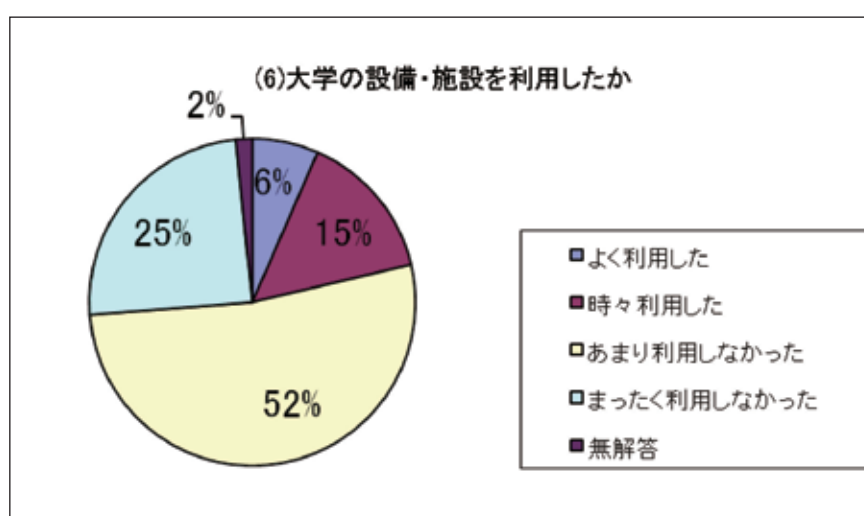


図16 大学の施設・設備の利用

質問（６）に対する回答結果を図16に示す。その結果、あまり利用しなかったが最多で52％、

次いで全く利用しなかったが25%と大学の施設・設備の利用度は低かった。この項目は例年利用度が低い傾向が現れる。その原因として、利用した対象を「附属図書館、ブラックボード、AIMS-GIFU など」としているが、実際には附属図書館よりも、ブラックボードや AIMS-GIFU などの方に対する期待が高いのに対して、それを十分活用し切れていないことがうかがえる。例えば一講座に研修教員が複数いる場合には、メールによる大学教員との1対1のやりとりに比べてコミュニティを形成してよりいっそうの指導効果が期待できる。この他にも様々な利用法があるが、それが十分使いこなせていないことなど、今後のブラックボードや AIMS-GIFU の使用法についての課題や問題点を改めて検討する必要があるといえよう。

(7) 担当する研修教員の人数は、どのくらいが適当だと思いますか？

1. 1～3人 2. 4～6人 3. 7～9人 4. 10人以上 5. その他

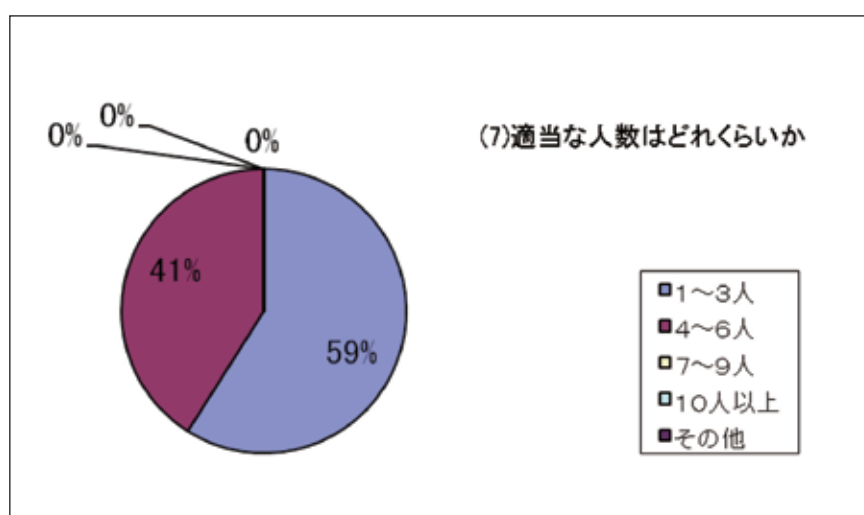


図17 担当する際に希望する研修教員数

質問(7)に対する回答結果を図17に示す。その結果、グループの研修教員数は、「1～3人」を適当とすると回答したが59%、次いで「4～6人」を適当とすると回答したのが41%である。「7人以上」と回答した大学教員がほとんどいなかったことから、研修には少人数によるゼミ形式が望ましいと考えられていると推測される。これは一人一人に対する行き届いた研修を提供できることがその要因と考えられる。その一方で「4～6人」と回答した大学教員は、適度な人数のもとでの指導を理想としていることがうかがえる。

【研修教員の印象】

(8) 今回の研修を通して、研修教員に対する印象はどうでしたか？

1. 非常に良い 2. まあまあである 3. あまり良くない 4. 全く良くない

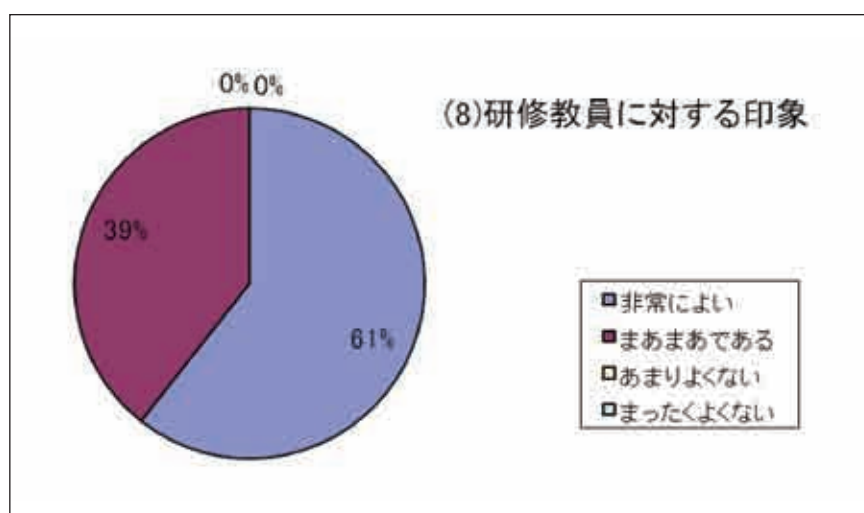


図18 研修教員の印象

質問（８）に対する回答結果を図18に示す。「１」が61％、次いで「２」が39％であった。この項目は、主に研修教員の研修に対する取り組みの様子や課題意識などが評価の対象となる。したがって、要求水準の高い大学教員にとっては「１」ではなく「２」を付けた可能性もあり、また概して良好と判断した大学教員も「２」を付けている可能性もあるためかなり幅の広いものとなる。したがって、全体的には大学教員の研修教員に対する印象はよいものと判断できよう。

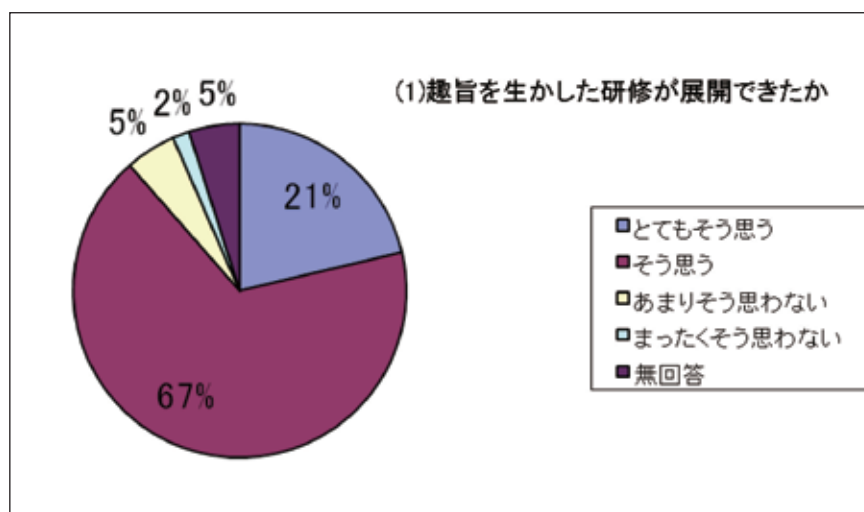
4. 終わりに

12年経験者研修は、今年度で6年目である。岐阜県においては、県教育委員会との緊密な連携のもと、法定10年目研修の一部を大学で担当してきた。このことは、岐阜県に対して貢献できたばかりではなく、大学教員にとっても現場の様子を知ったり、具体的な教材開発や指導法などに関わったりすることによって、教員養成学部として学生の教育に反映できるものを得られたと考える。

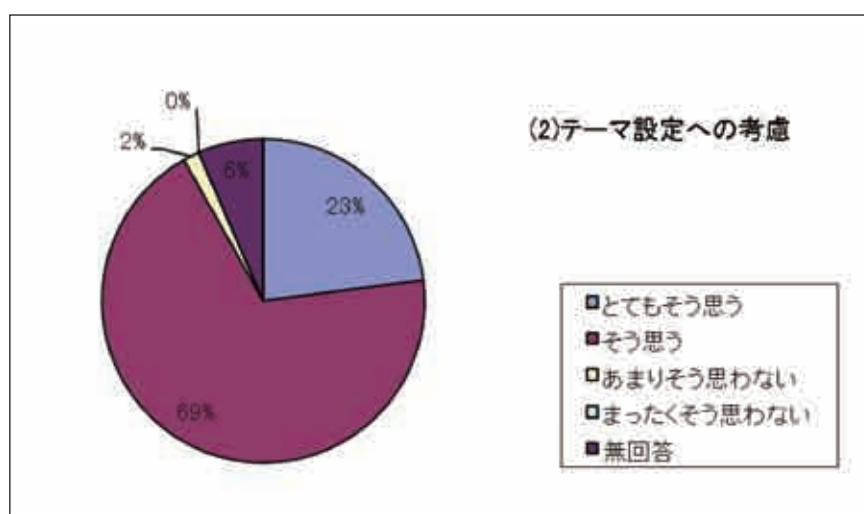
来年度からの免許状更新講習実施により、従来の形での12年目研修における大学研修は今年度で終了するが、これまでの財産を引き継いでいっそう充実した研修の機会を提供していきたい。

付記：アンケート調査の分析は本誌第2号より連続して4回行ってきた。12年目研修終了に伴い今回で最後となる。これまでの分析に関して尾高広昭（技術教育専修）、山田雅博（数学教育専修）が関わってきたことを記して謝意を表明したい。

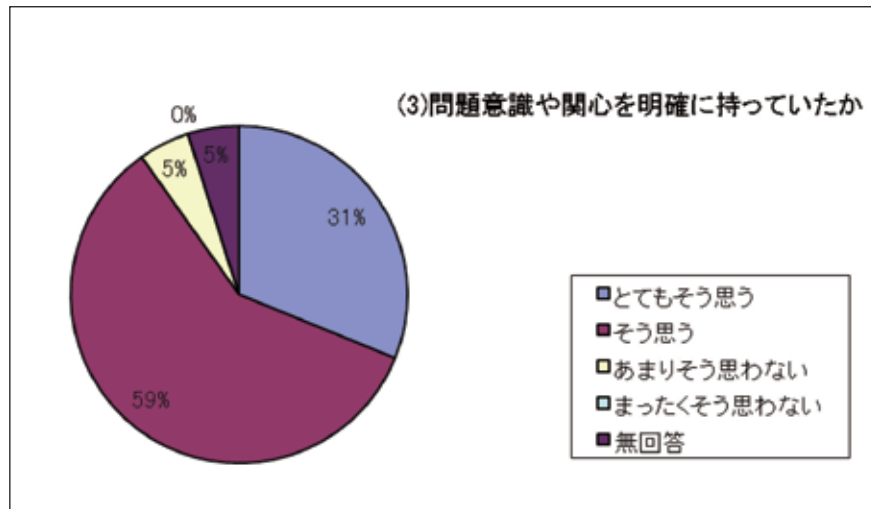
資料 大学研修についての大学教員の意識



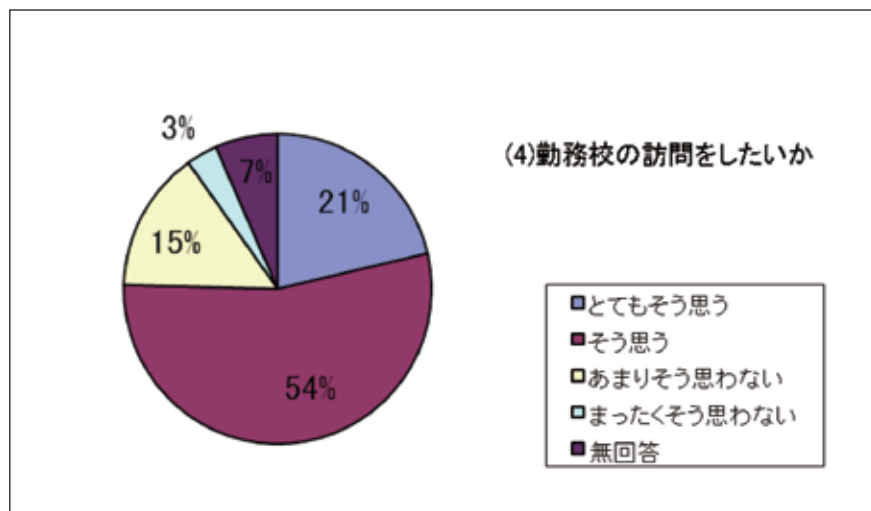
資料 1 研修の趣旨



資料 2 研修教員の課題意識への対応



資料 3 研修教員の受講実態



資料 4 研修教員の勤務校への訪問

別表 平成20年度岐阜大学研修（10年経験者研修）コース一覧

No.	フリールド	履修コード	研修コース名称	担当大学 教員氏名と 連絡先(※省略)	大学院専修	研修のねらいと方法・内容	事前準備	受講 人数	初 日	最終日
1		EZT081101	言華への関心を引き出す方法の研究・開発		教科教育専攻・ 国語教育専修	児童・生徒たちに言華への関心・興味・好奇心を引き出すような授業を展開するために、どんな工夫がありうるかを考えあう。まず、授業者みずからが、言華への基本的な理解・見識と、関心を高めたいと思う。それを土台として、各自の工夫を披露して情報交換し、よりよいものに高めていきたい。 * 第一日目の一週間前までに一度メールをお送りください。(内容は、氏名・所属学校・担当学年・この研修での課題ほかをお記しください)	直近の研究会・研修会等のために作成した指導案(複数でも可。なければ、相当するものを作成して持参のこと)(佐藤に提出してもよいよう、コピーをご用意ください)	2	8月6日 (水)	8月27日 (水)
2		EZT081102	国語力を育む古文の学習指導		教科教育専攻・ 国語教育専修	近年「ゆとり教育」が見直され、基礎・基本の定着が教育の重要な課題になってきました。とりわけPISA調査における「読解力」の低下ということもあって、「国語力」の充実に問題にされてきます。また、それとともに我が国の古典や文化を重視する姿勢も打ち出されつつあります。 そこで、このコースでは、「ことばと文化」という視点から、古文学習のよりよきあり方について考えてみたいと思います。 なお、初日の前半は古文学習の基本的な考え方についてお話しします。	最初の時間に、話し合いの素材として、古文の指導に関する自分なりのアイディアもしくは課題を一点用意してきてください。	1	12月25日 (金)	8月26日 (火)
3	教科教育—国語	EZT081103	国語科教育実践の探究		教科教育専攻・ 国語教育専修	本コース1日目では、受講者各人の持つ課題について、その解決の示唆となる文献等を貸与します。また、優れた国語科教育実践論文を講読します。 最終日には、貸与された文献から学んだ知見を紹介し、それに基づいて受講生同士で意見交換をします。また、この日も残りの時間で、優れた国語科教育実践論文を講読します。 同日とも、学習に変化を持たせるために、国語科教育関係のビデオを視聴する時間も設けたいと思います。	特になし	6	8月1日 (金)	8月21日 (木)
4		EZT081104	中学校における漢文指導		教科教育専攻・ 国語教育専修	中学校における漢文の指導は、漢文教材に充当できず授業時数の制約と、教材の採り方にも問題があって、十分に効果を上げていないのが現状である。少ない授業時数の中で、何をどのように教えるべきかを考える。	従来してきた指導の簡単な報告書	1	8月1日 (金)	8月29日 (金)
5		EZT081105	小・中学校における漢字指導		教科教育専攻・ 国語教育専修	漢字の指導は、学年に配当された漢字や教科書に出てきた常用漢字を覚えさせることを急ぐあまりに、漢字習得に嫌悪感を懐かせる結果も生んでいる。児童生徒に嫌悪感を懐かせずに効果を上げる指導法について考える。	従来してきた指導の簡単な報告書	1	8月1日 (金)	8月29日 (金)

平成20年度12年目研修に関するアンケート調査分析

No.	フリート	履修コード	研修コース名称	担当大学 教員氏名と 連絡先(※印刷)	大学院専修	研修のねらいと方法・内容	事前準備	受講 人数	初 日	最終日
6		EZT081201	歴史学の新しい流れ と歴史教育		教科教育専攻 社会科教育専修	アナール派など歴史学の新しい潮流を紹介するとともに、その 歴史教育への導入の可能性を探る。	特になし	0		
7		EZT081202	教科教育－社会		教科教育専攻 社会科教育専修	中等教育における公民教育の課題を明らかにするとともに、新 教育課程で要請されている知識・技能の習得と活用を図る授業づ くり、及び評価の在り方について検討する。	特になし	1	8月1日 (金)	8月25日 (月)
8		EZT081203	文化・社会の変容に 注目した歴史学習		教科教育専攻 社会科教育専修	歴史の学習は、小学校・中学校・高等学校と、段階を追って深 められていく。そのなかでも扱い方の難しい文化・社会の分野を 取り上げ、それぞれの校種の特質に即して、指導のあり方、とく に教材の認識について検討することにする。小中は日本史分野、 高校は世界史を主たる対象とする。	学習指導要領解説を持 参すること。また、各 自の研修のねらいにつ いて、1日目に、数分 程度、口頭で説明を求 めます。	2	7月31日 (木)	8月28日 (月)
9		EZT081204	中学校地理的分野に おける教材および試 験問題の評価		教科教育専攻 社会科教育専修	前半では、教科書教材を中心に学習指導要領に対する準拠性を 考察する。とくに地理教育の基礎基本と新学習指導要領の課題に ついて議論を深めていきたい。 後半では、高校入試問題を素材にして、地理的な見方や考え方を 評価する方法について作題演習を併用しながら考えていきたい。	現行の学習指導要領解 説、教科書、地図帳、 新学習指導要領（文部 科学省のホームページ からダウンロードして 印刷したもの）	0		
10		EZT081205	公民科教育に関わる 法律と国際関係		教科教育専攻 社会科教育専修	公民科教育に関わる法律と国際関係の諸問題を扱うことにす る。具体的には、人権に関わる国内の主要判例等の検討と法的視 点から国際社会の問題を考察する。	特になし	1	7月25日 (金)	8月29日 (金)
11		EZT081206	地域調査の実践		教科教育専攻 社会科教育専修	地域調査の意義、方法、実践について、いくつかの地域を事例 に具体的に検討する。	地図帳（アトラス）	2	7月22日 (火)	9月22日 (月)
12		EZT081207	少子・高齢社会の危 機をチャンスに変え るには？		教科教育専攻 社会科教育専修	日本では急速な勢いで少子化・高齢化が進行している。2025年 には人口の3割以上が65歳以上の高齢者によって占められると推 計されている。世界最高である。また同じ年に日本の労働力人口 比率は58%に落ちこみ2050年には50%まで低下すると見込まれて いる。世界最低である。世界最高の高齢化率と世界最低の労働力 人口比率が並存する近未来社会日本。このピンチをどうチャンス に変えることができるだろうか？また、このことをどう若い世代 に伝えることができるだろうか？諸外国との比較を通して考察す る。	(1) これまでに少子・ 高齢社会について行っ た授業の資料や指導案 など。 また、その成果や課題、 児童・生徒の反応等を 示す資料。（もしあれば、 で結構です） (2) これまでに少子・ 高齢社会について読ん だり、考察・研究した 本や資料等があればそ の要約・コメント等。	1	7月25日 (金)	8月22日 (金)

No.	フリット	履修コード	研修コース名称	担当大学 教員氏名と 連絡先(※印刷)	大学院専攻	研修のねらいと方法・内容	事前準備	受講 人数	初 日	最終日
14		EZT081302	国・公・私立の中学 校・高等学校の入試 問題の考察		教科教育専攻 数学教育専修	参加者は各人の研究したい学校をいくつか選び、それらの入試 問題と学校の特徴を調べる。 実際に解くことを通して、それらの入試について多面観の観点 から考察する。 岐阜県のみにとらわれず、日本の学校の入試を見てみよう。都 会の進学校の入試や他府県の公立学校の入試も調べてみよう。こ の研修結果を、生徒の進路指導と授業に役立てよう。	特になし	0		
16		EZT081304	算数と他教科融合型 の授業による、学習 動機付け		教科教育専攻 数学教育専修	学習動機・意欲の低下が問題になっているなか、小学校高学年 がその境目になっているので、その時期に焦点を合わせて、意欲 を高める方法を探って行きたい。 例えば、ゲーム的なものでもよい。大学外での期間に、その具 体化を図るよう主体的な努力を期待している。	学習意欲の低下が原因 と見られる学力低下の 例をいくつか、例示出 来るように普段から気 配りしつつ、当日その ケーススタディを報告 して欲しい。	2	8月1日 (金)	8月28日 (木)
17	教科教育—数学	EZT081305	数学と他教科融合型 の授業による、学習 動機付け		教科教育専攻 数学教育専修	学習動機・意欲の低下が問題になっているなか、中学入学がそ の境目になっているので、その時期に焦点を合わせて、意欲を高 める方法を探って行きたい。特に中高生を対象に、普段意識する ことのない数学の有用性(社会で果たす役割等)に目を向けさせ たい。	学習意欲の低下が原因 と見られる学力低下の 例をいくつか、例示出 来るように普段から気 配りしつつ、当日その ケーススタディを報告 して欲しい。	1	7月31日 (木)	8月28日 (木)
18		EZT081306	算数・数学教育の実 践研究		教科教育専攻 数学教育専修	小中学校算数・数学教育での指導内容について実証的に考察す る。合わせて現代的な課題についても論究する。研修結果につい ては具体的な単元指導計画の作成及び授業実践研究を行い考察結 果をまとめることとする。	特になし	4	7月28日 (月)	11月26日 (水)
19		EZT081307	数学温故知新		教科教育専攻 数学教育専修	ねらい： 学校現場での教育活動に直接的に関係するものではなく、数学 の素養、興味を深めることが目標です。 内容： 科学理論は一定の速度で発達するものではなく、紆余曲折を経 て進展していき、長い時間をかけて体系的に整備されていくもの だと思えます。ここではカストロフイー理論を題材に、登場、 勃興、批判、その後、の歴史を学び、各々の転換点においてその 理由を考え議論します。一つの数学理論の歴史を通して数学の 様々な側面を学んでみませんか。	特になし	2	8月8日 (金)	8月29日 (金)

平成20年度12年目研修に関するアンケート調査分析

No.	フィールド	履修コード	研修コース名称	担当大学 教員氏名と 連絡先(※印刷)	大学院専修	研修のねらいと方法・内容	事前準備	受講 人数	初 日	最終日
20		EZT081308	算数・数学教育について自らの課題を明らかにする		教科教育専攻 数学教育専修	最終日に、1時間分の指導案を作成し、発表・討議することを目指す。初日は、受講者が日頃から気になっている算数・数学教育全般に関する話題や疑問について話し合っている。このようにすることを課題としたということをはっきりさせたい。それをもとに1時間分の指導案を考えて貰い、5日目に発表し、討議して貰います。	学校で使っている算数・数学の教科書(全学年でなくて良い)筆記用具を持参のこと	4	8月4日 (月)	8月21日 (木)
21		EZT081401	メダカで学ぶ生物学		教科教育専攻 理科教育専修	メダカを主な教材として、生理・生態、発生、飼育・繁殖方法、無秩序な生物の移入(メダカの放流も含む)が生態系にどのような影響を及ぼすのか、等について講義形式で解説します。さらに人工受精、発生、産卵行動の観察法や解剖の方法を実習形式で学びます。要望があればフィールドに出てメダカをはじめとする魚の採集、種の同定なども実際に行います。 その他、理科教育に関する相談、魚類や川の生き物の教材利用など相談にも可能な限り応じます。期間中、受講生一人一人に課題を出しますので、5日目にレポートの提出を義務とします。 ただし本コースは、本年度に岐阜大学で試行される教員免許更新新講習試行事業の「身近な生物教材の活用法」と一部同じ内容を含みますので、本年度に免許更新講習を受講される方は本コースを受講しないでください	デジタルカメラを持ってくるとメダカの受精卵等の顕微鏡写真が撮影できます(必須ではありません)。5日にフィールドに出る際には汚れてもよい服装をお願いします(フィールドに出るかどうかは1日目に決めます)。	1	7月23日 (水)	8月25日 (月)
22	教科教育 理科	EZT081402	物理学実験 I		教科教育専攻 理科教育専修	小中学校理科・物理分野に関する基礎実験。学校の授業で、教授するのに苦勞する分野を持ち寄ってもらい、議論しながら、教材を開発する。理科を専門としない小学校教諭の方も、対象です。	どの分野がどのような苦勞するかを明らかにして、初日に臨んでいただきたい。	0		
23		EZT081403	物理学実験 II		教科教育専攻 理科教育専修	高等学校物理分野に関する基礎実験。学校の授業で、教授するのに苦勞する分野を持ち寄ってもらい、議論しながら、教材を開発する。 例1。机の上にボールを置きました。ボールには下向きに力の矢印、机とボールの接点では大きさが同じ逆向きの矢印を描くことができます。全部足すと、下向きが一つ残ってしまいませんか？ 例2。「電流」とは電気の流れである。交流は流れていない？	どの分野がどのような苦勞するかを明らかにして、初日に臨んでいただきたい。	0		
24		EZT081404	植物に関する教材開発		教科教育専攻 理科教育専修	生物分野の教育を行う場合、様々な方面から、様々な生物を教材にして教えることにより、より深く理解させることができます。また、教科書や指導書にはない教材を多数持つていて、臨機応変にそれらを使うことが、生徒の興味を引き出すために重要であると思う。このコースでは、特に生物分野を苦手とする先生を対象に、身近な植物を用いた教材の開発を目的とします。 植物学の中で教材開発を望む分野を明確にしておいて下さい。	特になし	1	7月28日 (月)	8月28日 (木)

No.	フリート	履修コード	研修コース名称	担当大学 教員氏名と 連絡先(※印刷)	大学院専修 理科教育専修	研修のねらいと方法・内容	事前準備	受講 人数	初 日	最終日
25		EZT081405	植物栽培・実験、植 物自然観察		教科教育専攻 理科教育専修	学校教育現場で栽培するのに適した植物材料を検討し、観察・実験のポイントを学ぶ。自然観察に適した植物材料の選定と観察の仕方を学ぶ。以上に加え、大学で進めているバラ科植物に関する研究について紹介する。	特になし	1	7月25日 (金)	8月22日 (金)
26		EZT081406	理科を専門としない 先生のための化学実 験練習と理科授業の スキルアップ		教科教育専攻 理科教育専修	小学校における理科実験（化学分野）で使う器具や薬品の取り扱い方を学び、実際に水溶液を作り、酸塩基中和反応等の実験を行う。これまで理科実験（化学分野）において不確かだった点を明らかにし、理科授業の指導のスキルアップを目指す。	できれば白衣を持ってきて下さい。白衣がない場合は、白衣の代わりの長袖の古いワイシャツかブラウスを持ってきて下さい（薬品等が跳ねて汚すこともあります）。 実験をしますもので、白衣の下は、動きやすい服装がよいです。靴もヒールの低い靴がよいです。	0		
27		EZT081407	2学期から使える理 科教材・指導案（小 学校）		教科教育専攻 理科教育専修	小学校の理科授業における指導力・実践力を高める研修を行う。具体的には、小学校の理科授業のなかで、2学期に授業実践できる単元を選んで、教材開発や指導案の作成を行う。研修で開発した教材を用いて、授業実践を行い、有効性を検証する。授業の構想から評価までの取り組みを論文としてとりまとめ、理科における授業設計のあり方や、指導法のスキルアップを目指す。	特になし	0		
28		EZT081408	2学期から使える理 科教材・指導案（中 学校）		教科教育専攻 理科教育専修	中学校の理科授業における指導力・実践力を高める研修を行う。具体的には、中学校の理科授業のなかで、2学期に授業実践できる単元を選んで、教材開発や指導案の作成を行う。研修で開発した教材を用いて、授業実践を行い、有効性を検証する。授業の構想から評価までの取り組みを論文としてとりまとめ、理科における授業設計のあり方や、指導法のスキルアップを目指す。	特になし	2	7月30日 (水)	8月20日 (水)
29		EZT081409	理科（化学）実験の 進め方		教科教育専攻 理科教育専修	理科実験をおこなうにあたっての条件設定の基本と、実際の実験レポートを題材にして実験レポートの書き方を考究する。 1日目：理科実験をおこなう際の心構えと実験条件で気をつける事項を講義する。その後、これらからおこなう実験内容の説明をおこなった後に、実際に有機化学実験をおこなってもらおう。 2～4日：自らおこなった実験のレポートを書いてもらおう。共に、学校現場での実験遂行上の問題点を整理してもらおう。 5日：実験レポートを提出してもらい、現場での理科（特に化学）実験の進め方について討論する。	研修前に、研修生の学校で実験させたときの、児童生徒のレポートを一週間前までに1、2例提出していただけるとありがたい。 研修には、実験ができる服装をして出席してください。	0		

平成20年度12年目研修に関するアンケート調査分析

No.	フリート	履修コード	研修コース名称	担当大学 教員氏名と 連絡先(※印刷)	大学院専修	研修のねらいと方法・内容	事前準備	受講 人数	初 日	最終日
30		EZT081501	楽しくピアノを弾 くってこういうこと		教科教育専攻 音楽教育専修	ピアノの演奏上の問題がある場合に、その解決を図る。 またなぜその問題がおきてきたか、作品の解釈を中心ににおいて 演奏しながら考える。	数曲または一曲のピアノ作品を演奏できるよ うに準備しておいてほ しい。 できれば暗譜で。音の 少ない作品も可。	1	7月23日 (水)	9月24日 (水)
31		EZT081502	教科教育		教科教育専攻 音楽教育専修	声域を通じ斑の無い響き、明るく澄んだ音色、確かな音程を求 めるとともに、各個人の長所を伸ばす発声を理論と実践を通じ行 う。	イタリヤ歌曲集2「全 音楽譜出版社」 1番目の曲：『ああ愛ら しく美しい瞳』 を練習してきてくださ い。	1	7月25日 (金)	8月22日 (金)
32		EZT081503	ピアノで弾き語り～ 曲の雰囲気高め 伴奏法～		教科教育専攻 音楽教育専修	自分で考えて作れるようにしてみる。 いつもの曲が、もっと曲の雰囲気を作れるよう工夫する方法を 考えていきます。	事前に楽典を勉強して おいてください。 特に音程（長3度や短 3度など）がわかって いると内容の運びがス ムーズになります。 五線譜は必ず持参して ください。	1	7月30日 (水)	8月29日 (金)
33		EZT081504	岐阜の音楽芸能		教科教育専攻 音楽教育専修	ねらい： 自分の身の回りにある音楽・芸能についてしる。 内容の概要： 自分の住む地域社会でみられる音楽・芸能についてフィールド ワークを伴う参加型調査を行い、その地域についての体験的理解 を深める。民俗芸能も含めたあらゆる音楽・芸能が本調査の対象 になり得る。（ただし例外もあるので、具体的には担当者で相談の 上決定。）	対象とするその地域に ついての基礎的な事柄 を把握しておく。例と して人口構成、産業な どの統計的データや歴 史などがある。またす でに調査を希望する対 象が存在するならば、 その音楽・芸能につい て概略的な事柄を説明 できるようにしておく。	0		
34		EZT081505	作曲 並びに創作教 育		教科教育専攻 音楽教育専修	創作教育を中心とした教育現場における諸問題を、受講生とと もに考える。	事前に、創作教育にお ける問題点を、各種資 料とともに整理しておく こと。	1	7月25日 (金)	12月17日 (水)

教科教育—音楽

No.	フリート	履修コード	研修コース名称	担当大学 教員氏名と 連絡先(※印刷)	大学院専修	研修のねらいと方法・内容	事前準備	受講 人数	初 日	最終日
35		EZT081506	教材研究と授業改善		教科教育専攻	作曲家と演奏者を結びつける楽譜の問題を中心に、楽曲の成り立ち、歌詞の内容などの視点から分析を試み、指導に生かす方法を探る。 題材と教師、教材と教師、教材と児童生徒、など様々な角度から授業のあり方、方法などを改善するきっかけを探ろうとする。 研修の結果を研究授業という形で、実践することがある。	各自の実践などをともに、具体的な課題を設定すること。実践記録等具体的な課題設定の資料	2	8月1日 (金)	9月25日 (木)
36		EZT081507	音楽の指導が苦手な先生のための110番		教科教育専攻 音楽教育専修	「ピアノが弾けないのに音楽の授業をしなければならなくなつた」「中学校で音楽専門でないのにクラス合唱を指導しなくてはならない」「音楽の教科書をどう指導していいかわからない」など、音楽の指導に苦手意識を持ってみえる先生、音楽の授業はピアノなどの演奏技術だけで決まるものではない、これからの自信を持って音楽の指導ができるように、それぞれの先生方のもつ課題に対応した研修内容を展開します。	特になし	1	7月28日 (月)	9月12日 (木)
37		EZT081508	「音楽づくり」「創作」や「共通領域」をどう指導するか		教科教育専攻 音楽教育専修	新学習指導要領により、従来の創作領域は、小学校では「音楽づくり」、中学校では「創作」として設定されました。また、新たに「共通事項」が設定されました。しかし、この分野は指導する教師自身も経験がないことが多く、どのように指導すればよいか悩んでいる方も多く多いのではと思います。このコースでは、「音楽をつくって表現する」をどのように指導すればよいかお困りの先生方に、豊富な先行実践例を示しながら、各自の力量に応じた指導のあり方を考えていただくことを目的とします。	特になし	1	7月31日 (木)	10月1日 (水)
38	教科教育—保健体育	EZT081601	体育・スポーツ科学における様々な現象を客観的に評価する方法		教科教育専攻 保健体育専修	児童生徒の発達発達程度、体育授業に対する考え方、運動技能の発達程度など、体育・スポーツ場面における様々な現象について客観的に評価するためには、いかなる手順を踏めば良いのかについて探究する。さらに、実際のデータなどを用いた種々の統計解析法についても研修する。	ノートパソコン (Excelがインストールされたもの)	5	8月1日 (金)	9月22日 (月)
39		EZT081602	ビジュアルトレーニング ～ボール運動や球技を題材にして～		教科教育専攻 保健体育専修	部活動や教科体育によって児童生徒の技能の向上を図るためには、体力や技術の向上を図ることは勿論のこと、その運動を行なう意義やルールといった概念的知識の他に、実際の活動場面で必要とされる状況把握、状況判断といった知的能力の育成が重要である。しかし、その場その場の状況を把握し、適切な判断をしてプレーしていくための情報処理能力、とりわけ情報の大半を占める視覚情報に関する測定や評価はまだまだ試行錯誤の段階ではないかと思えます。 このコースでは、スポーツビジョンと呼ばれる視機能に関する概略、測定の実際、各種スポーツにおけるビジュアルトレーニングの実際について、先行研究、先行実践の資料を基に学習します。	特になし	6	7月25日 (金)	9月26日 (金)

平成20年度12日目研修に関するアンケート調査分析

No.	フリート	履修コード	研修コース名称	担当大学 教員氏名と 連絡先(※郵割)	大学院専修	研修のねらいと方法・内容	事前準備	受講 人数	初 日	最終日
40		EZT081603	表現運動・ダンスの 指導について		保健体育	表現運動およびダンスの指導に関して、過去の自身の実践について問題を整理し、今後の実践に向けて課題を検討する。さらに、リズムダンス、創作ダンス、即興表現などを取り上げ、動きの探求を通して教師自身の動きの開発を目指す。	運動で着る服装、過去の 実践記録	1	8月7日 (木)	9月29日 (月)
41		EZT081604	器械運動の指導方法		保健体育	器械運動における動き改善のための指導法を検討するものである。もしこの研修を希望したい者は、できない子どもの動きやできる子ども動き(父母の承諾も得ること)を前以てビデオ撮影して頂きたい(事例数が多いほどよい)。ビデオ撮影に際して、カメラを三脚などで固定して、シャッタースピード1/250秒以上の条件でお願いしたい。さらに、補助法を実践・体験できるような運動ができる準備も合わせてお願いしたい。	動きの資料と運動がで きる服装	0		
42		EZT081605	剣道指導法		教科教育専攻 保健体育専修	初心者、初級者を対象とした剣道指導法について、現場での指導上の問題点を踏まえながら検討を行う。研修には平成15年に県スポーツ科学トレーニングセンターが作成した剣道指導の手引き、教育剣道の科学(大修館書店)を使用する。また、熱中症の予防、剣道運動における酸化ストレスについても最近の知見を含め取り上げる。	特になし	1	7月24日 (木)	9月30日 (火)
43		EZT081606	球技(ボール運動) の学習指導と体力・ 運動能力向上につい て		教科教育専攻 保健体育専修	球技(ボール運動)における学習指導の課題を整理し、体力・運動能力向上をねらった教材づくりや授業方法について検討したい。前半(1・2日目)では、担当者と受講者双方で資料を準備し、積極的なディスカッションを踏まえ授業実践のイメージを確定したい。後半(3～5日目)では、本コースで得られた知見や情報をまとめてもらい、その成果を指導案として提示していただきます。	ご自身の授業ノートや 資料(過去の授業実践 等)	5	7月29日 (火)	9月11日 (木)
44		EZT081607	体育科教育(行事・ 部活を含む)に関す る整理と探究		教科教育専攻 保健体育専修	学校の体育諸活動・教育において、今までの実践をもとに、反省と批判を加え、問題点を見つけ出し、改善に役立つ観点と方法を考察する。 身体論的方法論から、理論的背景を備えた方法と評価を明確にしたより良い実践を探究する。	今までの実践記録(簡 単なメモでも可)を準 備して持参下さい。	4	7月31日 (木)	9月9日 (火)
45	教科教育技術家庭	EZT081701	家庭科の実習・実技 の指導法		教科教育専攻 家政教育専修	今年度は、子どもの創造性を育てる実習教育のあり方をテーマに、小中高等学校の先生方と相互に研究していきたいと考えています。実技指導法の研究交流や理論を踏まえつつ、実際に作品製作を楽しむ活動にも取り組み、子どもの視点に立ち実習・実技の可能性について検討していきたいと思えます。具体的な作品としては、エコバッグの考案・試作です。また、実習授業を行う家庭室のあり方についても意見交換を行いたいと考えています。	特になし。実習の取り 組み紹介、子どもの作 品紹介ができればお願 い致します。	3	8月4日 (月)	8月8日 (金)

No.	フリート	履修コード	研修コース名称	担当大学 教員氏名と 連絡先(※印刷)	大学院専修	研修のねらいと方法・内容	事前準備	受講 人数	初 日	最終日
46		EZT081702	技術科教育における 教材開発および指導 と評価		教科教育専攻 技術教育専修	このコースは技術科の定番コースであり、技術教育専修の担当 教員が各々の専門の立場から、中学校技術・家庭科技術分野の教 材開発および指導と評価に対して、研修者の希望に応じた問題点 に焦点を絞り込んだ研修を個別対応の形態で実施します。なお、 研修最終日には研修成果発表会を開催して研修員相互の成果結果 の共有を行います。	研修をスムーズに実施 するために、受講希望 の研修者は初日に各研 修課題に関する資料ま たは研修計画書をご持 参ください。	1	7月23日 (水)	8月27日 (水)
47		EZT081703	授業に役立つ資料づ くり		教科教育専攻 家政教育専修	暮らしの中で、授業の中で「これは何だろう、何故だろう」を 思い起こし、それを大切にした「授業に役立つ食の資料づくり」 をテーマにした。教科書に一步踏み込める「食」に関する内容、 例えば、味覚について、健康食品とは、食の安全を見つめるには、 長寿食のサイエンス等々、総合的に考え、掘り下げてみるものが 今年のテーマです。	資料作りを行いたい食 に関する課題を考えて おいてください。	2	7月22日 (月)	9月8日 (月)
48		EZT081704	家庭科教育における 環境配慮した住ま い方のための教材・ 指導について		教科教育専攻 家政教育専修	環境を配慮しながら健康で快適な住まいにするためには、家 庭におけるエネルギー消費量を削減する必要がある。そこで、本 コースでは健康で快適な条件の光、熱、空気環境などを実感しな がら省エネルギーをはかる工夫のための教材開発、指導方法につ いて考察する。	特になし	0		
49		EZT081801	工芸と工作		教科教育専攻 美術教育専修	工芸と工作領域で応用でできる素材、技法、題材等について基礎 研究の指導を行う。とくに希望する受講者には、造形材料として の木に関する知識と木材加工の基本的技術を指導する。	特になし	0		
50	教科教育—図工・美術	EZT081802	絵画表現		教科教育専攻 美術教育専修	絵画を制作するとき、同じモチーフでもさまざまな表現が生ま れる。「花」を描いても、その場の雰囲気や描く者の心理状態の 違いによって、いろいろな花のイメージが生まれる。だから、授 業などで生徒たちに見えたとおり描くよう指示しても、それぞれ 違った絵になる。 このコースでは「見て描くこと」の大切さを考え、著名な画家 達の作品を示すことで、それぞれの視点の違いによって多様な作 品が生まれたことを理解する。	絵の具等を扱う場合も 考えて、汚れてもよい 服装をしてきてくださ い。水彩絵の具一式	4	7月31日 (木)	8月29日 (金)
51		EZT081803	鑑賞教育に力をいれ よう！		教科教育専攻 美術教育専修	美術作品について語ったり、そのよさを人に伝えたりすること はとっても重要です。それに何と言っても、作品の良し悪しが見 て分からねければ、話になりません。美術作品のすばらしさを子 どもたちに伝えるのが図工、美術の先生の大切な役割です。そ の方法をぜひとも身につけましょう～！	特になし	2	8月4日 (金)	8月18日 (月)

平成20年度12年目研修に関するアンケート調査分析

No.	フリート	履修コード	研修コース名称	担当大学 教員氏名と 連絡先(※印刷)	大学院専修	研修のねらいと方法・内容	事前準備	受講 人数	初 日	最終日
52		EZT081804	視覚デザインを考える		教科教育専攻 美術教育専修	視覚デザインの教育では、「情報の扱い方」「伝達の仕方」を考 えることも大切なことである。まず、(1) 色彩やかたちの工夫な ど視覚的なアイデアに偏りがちな指導の現状を再検討する。ついで、(2) 実生活の場の中の「視覚伝達の現在形」を把握しながら、 (3) 視覚デザインのことがよくわかる「楽しい課題・楽しい授業 展開、理解し易い資料提示・解説、など」を追究する。	特になし	0		
53		EZT081805	彫塑表現とその教材		教科教育専攻美 術教育専修	まずはじめに現在取り組んでいる図工・美術授業課題（特に彫 塑、工作、立体造形）についての考察を行う。 その後、実際の制作研修として、次の2つの内容のどちらかを 行う 1) 今後学校で子どもに対する教材として用いることのできるよ うな表現方法や技術の研修。 実際の授業を想定した彫塑教 材の試作を行う。 2) 自身の表現力や技術力を高めるための研修。 教師の立体造 形における表現力を高めることと、彫塑における素材や道具 の扱い方をさらに詳しく理解することを目的とする。 案1なら児童生徒ができそうな内容のものとし、案2ならもう 少し本格的な技法も取り入れていこうと思います。 具体的には、焼き物粘土による鳩笛制作・土鈴等の制作や、土 粘土、石膏、テラコッタ、ビューター鑄造、木、大理石、教材用 擬似石材等を用いた立体作品制作など、その他石膏デッサンなど でも良いです。 興味のある素材や表現をいくつか考えて、候補を挙げて下さい。 事前にメール (kasale@gifu-u.ac.jp) で内容を協議し、もう少し 具体的な計画を立てましょう。	特になし	0		
54		EZT081806	美術科における教 材・カリキュラム研 究―思春期の美術教 育のあり方―		教科教育専攻美 術教育専修	現代の美術文化の状況や生徒たちの実態を踏まえながら、造形 意欲を引き出す美術教育の内容や方法を検討する。中学生や高校 生の造形表現の特性、知的好奇心についての理解を深めるととも に、特徴的な教材開発の事例についてビデオ記録や文献を通して 考察する。表現と鑑賞の関連性、美術館やアーティストの活用、 ワークショップ、工芸教材、映像教材、アメリカの美術教育、校 種間の連携、評価方法等について取り上げる。	特になし	0		
55	教科教育―英語	EZT081901	Communicative Approach のための教 材研究：文法の取り 扱いについて		教科教育専攻英 語教育専修	コミュニケーション能力の育成を目指した英語教育にあって、 ともすれば「活動」だけに重点が置かれがちであるが、教師がこ うしたコミュニケーション活動を支えていくためには、語彙・構 文・語法などについて「教える側」に立った文法（知識）が必要に なってくる。この研修では、言語材料の体系化、教材研究の在り 方について、最近の言語学の成果を生かしながら考察していく。	電子辞書以外の辞書(英 和、英々など) 学校で 用いている英語教科書	3	8月5日 (火)	9月5日 (金)

No.	フリート	履修コード	研修コース名称	担当大学 教員氏名と 連絡先(※郵簡)	大学院専修	研修のねらいと方法・内容	事前準備	受講 人数	初 日	最終日
56		EZT081902	英語にとって教師とは何か		教科教育専攻英語教育専修	英語教師にとって基礎基本とは何かを多面的に考察する。詳しくは受講日初日に、授業論、教材論、教師論、評価論、音声論、文法論、実践研究論、生徒指導論などを、受講者の興味・関心・悩みに応じて研究計画を立てる。	校長または教育委員会に提出した自分の研究計画を持参する	5	8月1日 (金)	8月22日 (金)
57		EZT081903	英語を理解し英語で表現できる実践的な運用能力を養う指導法の研究・開発		教科教育専攻英語教育専修	学習指導要領の改訂案が公表された。新学習指導要領にもつくり効果的な指導の在り方を研究、開発する。英語が定着し、英語が使えるようになるための指導法の工夫を検討していく。	特になし	7	8月8日 (金)	8月29日 (金)
58		EZT081904	英語教育における文学教材の利用法について		教科教育専攻英語教育専修	英米の詩や小説を具体的な例として教材に選び、その利用法について実践的に学ぶ。	特になし	1	7月31日 (木)	8月21日 (木)
59		EZT081905	英語教科書における文化観・言語観		教科教育専攻英語教育専修	英語教科書(文部科学省検定済み)において扱われている世界のさまざまな文化や言語について考える。豊富な資料を提供するだけでなく、受講者自らも実際に教科書を分析し、「多様なものの見方」や「公正な判断力」の育成につながる授業のあり方に資するようにしたい。	特になし	1	8月1日 (金)	8月22日 (金)
60	特別支援教育	EZT082001	発達障害児の気になる・困った行動の理解と指導		教職実践開発専攻 特別支援学校 コース	発達障害のある児童生徒に見られる「気になる・困った行動」について、「なぜ、そのような行動をするのか?」を読み解き、支援を考えます。初日は、当方で準備する行動理解アセスメントを用いて、行動の捉え方や分析方法を解説します。それを基に、受講者が担当する事例を整理し、5日目は発表・協議します。共通の模式を基に、「なぜ、行動が変容した(しない)のか?」の要因を探り、ともに学び合いたいと思います。	考察したい事例について考えておいてください。	5	8月1日 (金)	8月25日 (月)
61		EZT082002	特別支援教育の授業づくり		教職実践開発専攻 特別支援学校 コース	特別支援学校(知的障害)や特別支援学級における児童生徒主体の授業づくりはどのようなに行えば良いのかについて、実際の授業をもとに検討します。	一学期に行った研究授業等の学習支援案	3	7月29日 (火)	10月16日 (木)

平成20年度12年目研修に関するアンケート調査分析

No.	フリート	履修コード	研修コース名称	担当大学 教員氏名と 連絡先(※印刷)	大学院専修 攻	研修のねらいと方法・内容	事前準備	受講 人数	初 日	最終日
62		EZT082003	読み書きや言語の支 援		心理発達支援専 攻 特別支援教育 コース	主に、通常の学級に在籍する、読み書き、言語発達、ことばの 流暢性、聴覚など、主に言語もしくは聴覚の能力に支援の必要とな る児童を対象に、問題や児童の心理特性を理解し、支援の方法につ いて、事例を通して考察する。	できれば、各自の具体 的な事例を通して研修 を行いたい。具体的な 事例を扱うことと、可 能な場合は、その旨、保 護者等に書面で承諾を 得ておくこと。事例 研修初日までに、事例 の行動観察などの記録 を用意しておくことが 望ましい。	2	7月23日 (水)	9月24日 (水)
63		EZT082004	知的障害、自閉性障 害のある児童・生徒 の理解と支援		心理発達支援専 攻 特別支援教育 コース	8月10日から14日に岐阜大学教育学部附属特別支援教育セン ターにおいて実施する柳戸サマースクール(対象：特別支援学級、 特別支援学校に所属する児童・生徒)に指導者として2日間参加 してもらいます。そこで担当した子どものケースレポートをまと め、最終日、それを基に子ども理解・支援の在り方について検討 します。	特になし	4	7月29日 (火)	8月28日 (木)
64		EZT082005	小・中学校の特別支 援教育コーディネー ターの意義と役割		心理発達支援専 攻 特別支援教育 コース	小・中学校の学級に在籍している発達障害の児童生徒の教育に ついては、校内委員会と特別支援教育コーディネーターの役割が 重要になる。特に、コーディネーターには、障害の理解、校内委 員会でのリーディング、特別支援学校(盲・聾・養護学校)や 特別支援教育支援員等の地域での支援ネットワークといった多様 な役割が期待されている。こうした実践的な取り組みについて学 習を深めたい。現在、コーディネーターをされている先生だけでな く、これからコーディネーターを目指す先生にも受講していただ きたい。	特になし	2	8月6日 (水)	8月28日 (木)
65	教育相談	EZT083001	教育相談の事例検討 とグループ箱庭体験		心理発達支援専 攻 臨床心理学コ ース	ひとつは教育相談の事例検討を行う。受講者は自分が関わって いる児童生徒の相談事例や指導事例の逐語録を第1日目と第5日 目に報告してもらう。(事例の書き方については事前に問い合わせ ること。)その報告された事例について、受講者全員が各自で感じ たことや考えたことを述べ、討議する。 その後、講師(鈴木)がコメントする。事例を検討することによっ て、児童生徒の問題の理解の仕方、彼らとの関係の取り方、話の 聴き方、相談の仕方等を学ぶ。同時に、報告者自身の心理的課題 にも触れ、自己を振り返ることにもつながる。 二つ目に、両日とも、研修時間の最後に自分自身の再発見のた めのグループ箱庭を行う。そこでもまた自分自身を振り返ること になる。 状況によっては第3日目もグループ箱庭を実施するかもしれない。	児童生徒の相談事例や 指導事例の逐語録(詳 細はメールで問い合 わせ)	1	7月25日 (金)	8月29日 (金)

No.	フリート	履修コード	研修コース名称	担当大学 教員氏名と 連絡先(※印刷)	大学院専修	研修のねらいと方法・内容	事前準備	受講 人数	初 日	最終日
66		EZT083002	不登校対応、特別支援教育の進め方		心理発達支援専攻	現在、あるいは過去に対応した「不登校」問題、通常学級に在籍する特別な支援を要すると思われる子どもへの対応を事例検討する。	1 事例について、事例の概要、これまでの対応内容をまとめてくる。	3	8月4日 (金)	8月29日 (金)
67		EZT083003	いじめに気づく教師、迅速に対応する学校		教職実践開発専攻 教育臨床実践コース	教師がいじめに気づき、学校として迅速に対応するために、いじめの予防と早期解決にどのように取り組んでいけばよいのかを、具体的な事例を通して検討していく。さらに、対応のポイントとして、「大きないじめ問題（自殺を含む）」にしないために「いじめをどう予防するか（小学校低学年にさかのぼって）」の2つを上げ、話し合っていきたい。	特になし	2	7月28日 (月)	9月29日 (月)
68		EZT084001	環境とライフスタイルの観点から小学校における総合的学習の時間の教材開発と評価法を考える		教科教育専攻 家政教育専修	本コースでは、研修課題解決の一方法として、「生活指標の活用」（大藪）と、「環境家計簿の活用」（杉原）についての実践説明を行った後、各自の研修にそれをどのように生かすことが可能かを考えてもらい、発表と討論を行う。	特になし	0		
69		EZT084002	総合的な学習の時間の新たな枠組み～新学習指導要領の移行措置に備える～		教職実践開発 (教職大学院)	新学習指導要領では、総合的な学習の時間が総則から独立し、新たに章立てされました。それに伴い、総合的な学習の時間の目標が教育課程の基準として示されました。その冒頭に「横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して」とあるように、総合的な学習の時間としての成立要件が明示されたこととなります。これは、従来の行事等への安易な転用を見直し、今後の小学校英語活動等との区別をしっかりとつけるだけでなく、総合的な学習の時間がどうあるべきなのかを改めて問いかけています。平成21年度からの移行措置に備えて、総合的な学習の時間の新たな枠組みを丁寧に解説します。	小・中学校学習指導要領（平成15年12月一部改正版）及びその解説書 新小・中学校学習指導要領（平成20年版）及びその解説書	1	7月30日 (水)	8月27日 (水)
70		EZT084003	環境教育を行う上で何が必要か		教科教育専攻 社会科教育専修	環境教育はものの本質を見極めないと偏見やムードが先行する危険性をもっている。そのため教師は総合的な眼でものを見ていく必要がある。「焼畑」や「南アジアの人口稠密」、「日本の森林面積率」などを題材に、そこにある本質を解説していく。おそろしく今までの正義と悪が逆転するのではないかと思う。この研修が今後の環境教育の教材開発などに役立つことを願っている。	特になし	2	7月29日 (火)	8月27日 (水)
71		EZT084004	熱帯アジア風土論～環境教育と国際理解教育の接点を探る～		教科教育専攻 社会科教育専修	中学校で行われた西アフリカの授業は、平均寿命の低さをキーワードにし、低教育水準、不衛生、貧困などに関する内容であった。「これでは生徒は西アフリカを暗黒の世界としか認識しないであろう。何故、この地域で一生懸命生きていく人々の姿を示さないのか？」が、そのときの感想である。熱帯アジアをフィールドに、その地域の人と自然の関わりを通して、国際理解とは何かを考えていきたい。また、見事な人と自然の関係性は環境教育の優れた教材になるかもしれない。	特になし	0		

総合的な学習

平成20年度12年目研修に関するアンケート調査分析

No.	フリールド	履修コード	研修コース名称	担当大学 教員氏名と 連絡先(※印刷)	大学院専修	研修のねらいと方法・内容	事前準備	受講 人数	初 日	最終日
72		EZT084005	読書を考える		カリキュラム開 発専攻 カリキュラム開 発専修	「読書を考える」というテーマで、自らの振り返りと教育現場への適用を考えているコースです。現在、読書活動（朝の読書等）を行っている方、総合の時間等で読書を計画している方、読解力を向上を目指している方、読書が好きな方等の参加を期待しています。研修の準備ならびに課題として齋藤孝著、『読書力』（岩波新書）を読んでおいてください。	齋藤孝著、『読書力』（岩波新書）を持参してください。	2	7月30日 (水)	8月27日 (水)
73		EZT084006	情報メディアを活用した教材開発		カリキュラム開 発専攻 カリキュラム開 発専修	校内ネットワークやマルチメディアコンピュータを活用して、教科あるいは総合的学習の時間等で使用する素材・教材の収集や、デジタル教材・Web教材とそのプレゼンテーションの工夫を検討する。また、個別学習を実現するe-Learning教材、CAI教材等の開発や、それらを用いた授業開発について検討する。	特になし	1	7月29日 (火)	9月5日 (金)
74		EZT085001	高機能自閉症・アスペルガー症候群を持つ生徒の理解と支援		心理発達支援専 攻 臨床心理学コー ス	通常学級の中にいる軽度発達障害を持つ子どもとして、高機能自閉症やアスペルガー症候群をもつ子どもがいます。先生方が実際に関わっている（あるいは関わってきた）そういった子どもたちのことについて、A4・1枚程度のレポートを出していたしながら、それをもとに、その子どもの理解と支援について学習・議論を行います。	上記の、A4・1枚程度のレポートを当日持参をお願いします	3	7月29日 (火)	9月25日 (木)
75	児童生徒の発達理解	EZT085002	統計分析を利用した児童・生徒理解を援助する測定と評価		カリキュラム開 発専攻 カリキュラム開 発専修	社会の価値観、生活観が多様になるに伴い、生徒・児童を含む他者理解が難しくなっています。それは、私（自分）が持つ他者理解のための枠組みでは対応しきれなくなっていることを示しています。そこで、その対応しきれなくなっている部分を補うための援助を、統計手法を利用して考えようということが本研修の目的です。そのためには、相手が出す情報を処理するためのいささかの技能が必要です。目的にあわせてどのような情報を収集し、どのように処理すれば効果的な援助手段になるのかを考えます。	パソコンのexcelの関数の処理に通じていることが望ましい。	0		
76		EZT085003	脳の機能、行動から児童生徒を理解する		心理発達支援専 攻 教育心理学コー ス	近年、脳研究の成果を教育の場に生かそうとする動きがでてくる。研修では、脳の機能と行動との関連について学修し、児童生徒への指導や援助に役立てる（将来役立ちそうな）ことを模索する。例えば、不登校を睡眠リズムの乱れから理解してみ、学習等に関する脳の機能から授業を考えてみる、自閉症等の脳の知見に基づき児童生徒への理解を深めることである。取っ掛かりの資料を用意するので、各自で工夫・展開して欲しい。	特になし	4	8月6日 (水)	9月5日 (金)
77		EZT085004	発達に伴う造形表現の変容理解と授業改善		教科教育専攻 美術教育専修	図工・美術での教材設定と授業のありかたについて、造形の発達特性理解による改善の視点を研究することにより鮮明にすること	特になし	2	8月4日 (月)	8月22日 (木)

No.	フリート	履修コード	研修コース名称	担当大学 教員氏名と 連絡先(※郵簡)	大学院専修	研修のねらいと方法・内容	事前準備	受講 人数	初 日	最終日
78		EZT086001	家庭、地域との連携 による開かれた学校 づくり		カリキュラム開 発専攻 カリキュラム開 発専修	最近では学校、家庭、地域が一体となって、子どもの教育にあ る必要があるといわれており、全国各地で家庭、地域との連携 による開かれた学校づくりの実践が展開されている。本コースで は、家庭、地域と学校の連携のあり方や学社連携・融合について 実践的かつ理論的に検討し、受講生の勤務校における家庭、地域 との連携による開かれた学校づくりの具体的方策等を考究してい く。したがって、受講生は、本テーマに関わる勤務校の関連資料 を収集し、研修日当日にご持参いただきたい。	本テーマに関わる勤務 校の関連資料	1	8月5日 (火)	8月25日 (月)
79		EZT086002	小学校および中学校 における薬品の管理 について		教科教育専攻 理科教育専修	小学校、中学校で扱う薬品や理科室などに保管されている薬品 類の適正な管理、保管について講義する。特によく扱う薬品につ いてはその性質、毒性、皮膚に触れた場合の処置、および理科実 験等で出てきた廃液などの適正な処理方法などもあわせて講義す る。実際の理科室での管理状況あるいは知りたい薬品の危険性な どを予め連絡していただければ、その問題点などを指摘すること も可能。また、大学での薬品の管理システムも紹介する。	特に知りたい薬品類の リストをメールでお送 りください。	1	8月1日 (金)	8月21日 (木)
80	学校改善	EZT086003	携帯電話をめぐる諸 問題への対応につい て		教科教育専攻 技術教育専修	現代の科学技術の粋を集めて登場した携帯電話（PHSを含む； 以下同様）は日本においては販売戦略が功を奏し特に学生層に人 気を集めつつ、世代を越えて爆発的に普及した。 一方、児童・生徒を巻き込んだ携帯電話がらみの不幸な事件等 も後を立たず、普及の急速な低年齢化に伴って、もはや高校・中 学校のみならず小学校までもが種々の影響を受けないとはいわ れなくなり、喫緊の対応を迫られているのではないかと考えます。 無線電話、ネットワーク端末、音楽プレイヤー、カメラ等とし ての携帯電話を使用するにあたり、児童・生徒、学生、教員、子 供を持つ親、子供を学校に預ける父兄の立場で、矛盾のない一貫 した（使用・管理、付き合い方等の）姿勢・ポリシーを確立する ことが必要であろうと考えます。 その上で、それぞれの教員としての切り口あるいはフィールド （教科教育、総合的学習、あるいは学校改善いずれでもよいしよ う）の問題対策として、どのような授業実践計画をたて、実行す ることができかを考えることを課題にできればと思います。	学校の現状と、ご自身 としての、教員の立場、 子供を学校に預ける親 の立場、家庭での親の 立場について、本音の メモ並びに各立場によ らない矛盾のない一貫 したポリシーとは何で あるかについてのメモ をご用意ください。 また、設定するフィー ルド（教科教育、総合 的学習、学校改善）を 何にするかを決めてお いてください。（小学校 から高校まで、切り口 としては道徳から情報 や技術・家庭まであら ゆる立場が可能ではな いかと考えます。また電 磁波環境としての切り 口も可能です。）	0		

平成20年度12年目研修に関するアンケート調査分析

No.	フリート	履修コード	研修コース名称	担当大学 教員氏名と 連絡先(※印刷)	大学院専修	研修のねらいと方法・内容	事前準備	受講 人数	初 日	最終日
81		EZT087001	授業記録に基づく授業分析のススメモ～自らの授業観や子ども観を見つめ直し、磨き合う～		教職実践開発 (教職大学院)	子どもの相互の関わりの中で問題意識と追究を豊かに深める授業、見つけあふく(問題解決)力を磨く授業の在り様、自らのこれまでで形づくってきた課題に対して、私も含めて研修教員の皆さんと共に、授業逐語記録の作成とその丹念な分析考察・省察を協働して行う中で向き合ってみてほしいと考えます。 教科は特定しないで、総合的な学習や道徳も対象とします。	1学期に、自らの授業(公開研究授業等)をビデオ録画してください。その録画記録と授業・単元構想等をお持ちください。	3	7月23日 (水)	8月26日 (火)
82		EZT087002	メディアアリテラシー入門		教科教育専攻 技術教育専修	情報が氾濫する社会に生きるためには、メディアから流れる情報を批判的に読み取る力である「メディアアリテラシー」の習得が必要であると言われています。日本ではカナダのメディアアリテラシー教育が有名です。本コースでは、テレビ・新聞・インターネットなどのメディアの特性を知るワークショップを1日目に開催し、その成果をふまえ、メディアアリテラシーに関する各自の研修テーマにそった活動を行っていただきます。	初日に研修テーマと研修計画の発表を行ってまいりますので、研修テーマと研修計画を事前に提出していただきます。詳細はAIMSにて。	3	7月22日 (火)	9月30日 (火)
83	学級経営・実践研究法	EZT087003	フリー統計ソフトRを使ったデータ分析入門		心理発達支援専攻 学校臨床心理学 コース	教育現場ではさまざまなデータが収集されることがある。それらを分析していく際に、統計ソフトを使う必要があるが、市販の統計ソフトは高額で入手しづらい面がある。そこで、本コースでは、フリーウェアである統計ソフト「R」の利用方法を学ぶ。(http://www1.gifu-u.ac.jp/~s.oga/page036.html 参考) 各自のノートパソコンを持参してもらい、(必要があればインストーラから)操作方法を学習する。 なおRはWindowsのみでなく、Mac, Linuxにも対応しているが、担当者はWindowsしか体験がないので、Windowsのノートパソコンを持参してもらいたい。 統計学そのものについて学ぶのではないが、最終日には、なにかのデータを分析した結果を各自が持ち寄り、それについて話しかうことにしたい。	ノートパソコン持参のこと統計ソフトRを(可能ならば)インストールしておくこと	0		
84		EZT087004	問題解決型の道徳授業の理論と実践		教職実践開発専攻	児童・生徒の発達課題や学級経営の状況を理解した上で、学校生活における道徳的問題(自己実現、友情、思いやり、公共心など)を解決支援するための道徳教育の理論と方法を実践的に研究する。児童・生徒が自ら課題を発見し、責任をもって価値を判断し、問題解決できるスタイルの道徳授業を協働で構想し、その実践を通して省察を深める。特に、カウンセリングやエンカウンター技法を取り入れることで、道徳教育の多様なアプローチを習得する。	特になし	4	7月29日 (火)	9月30日 (火)

No.	フリ ット	履修コード	研修コース名称	担当大学 教員氏名と 連絡先(※印刷)	大学院専修	研修のねらいと方法・内容	事前準備	受講 人数	初 日	最終日
85		EZT087005	テレビ会議を活用し た授業づくり		カリキュラム開 発専攻 カリキュラム開 発専修	テレビ会議の利用は学校間の協働学習として実施され、共通のテーマを各学校の立場から調査し地域間の共通性や特殊性についての学習を深めることが期待されている。また、学校の日常では難しい専門家の知識や考え方に触れる手法としても活用される。本コースでは、テレビ会議を活用した基本的な授業設計について検討し、実際にテレビ会議を利用した遠隔学習を実施することにより、遠隔学習の授業づくりの手法と学習効果について学ぶこととします。	テレビ会議を利用した授業実践や計画があればその資料を持参してください	0		
86		EZT087006	ITを活用した授業改善・授業作りの方法		カリキュラム開 発専攻 カリキュラム開 発専修	受講生それぞれの学校段階、教科、学習指導で改善したい点などを考慮しながら、静止画や動画など何らかの形でデジタル化した素材（デジタルカメラで撮影した写真などもふくみます）を用いた、効果的な授業改善・授業づくりの手法を学ぶ。実際に授業で活用することとも含み、コースをすすめる。高度なITの知識は必要としない。	特になし	5	8月1日 (金)	8月29日 (金)